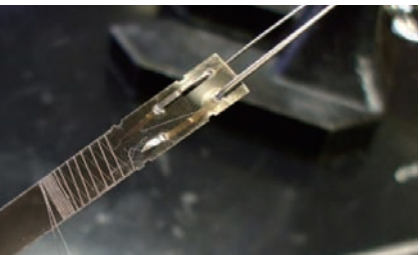


# 1957歳と幅広い年齢層の製造ライン ベテランの技術と若い力が 結集した『総合力』で勝ち残る！

相互電機

相互電機（横浜市都筑区佐江戸町、荻野伸夫社長、電話045・934・6554、FAX045・934・6599、<http://www.sohgo-denki.co.jp/>）は、温度・湿度・CO<sub>2</sub>・露点などのセンサを開発・製造・販売・修理している「エコを生み出すセンサメーカー」である。空調・気象・環境試験装置・プラント・海洋関連などの分野のニーズに応え、少しずつ信頼を積み重ね昭和26年の設立から今年で64年になる。

0.02mmの白金線を肉眼では見えない溝に2本同時に巻く作業など、同社の卓越した技術力は、創業当時より北辰電機製作所に納入していた航空計器に使用する精密固定抵抗を生産する手作業から養われたものである。これが現在の売り上げの約7割を占める温度センサを生み出す「コア技術」



温湿度センサの特注にも自在に応じる技術力

サの出力は、電流、電圧、抵抗出力を兼ね備え、今後もより一層現場で扱いやすい製品づくりを念頭に置き、何事にもチャレンジしていく会社として成長し続け、勝ち残りをめざす。



荻野社長を、幅広い年齢層の従業員が支える

につながった。高齢化・人手不足に悩む業界の中で、ベテランから若手の従業員へ永年の技術を継承する人財育成にも力を入れている。従来より、北海道から沖縄まで日本全域にわたって物件の納入実績を持っているが、装置の一部に使用する温度センサは海外での実績も多い。東京では、平成25年に新たにオープンした歌舞伎座とそのオフィスタワーをはじめ、東京都庁などのビル空調用センサとして納めた物件は年間で1000件を超える。

一方、温湿度センサの特注も多数手がけている。大手メーカーに断られたお客様のスベックも、同社が培った技術・実績と協力会社との連携によりニーズに即した製品化を実現。その結果、着実にリピーターを増やしてきた。セン